

みずほCustomer Desk Report 2016/08/04 号(As of 2016/08/03)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.15 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.08	1.1218	113.42	0.9651	1.3335	0.7597
SYD-NY High	101.57	1.1226	113.62	0.9738	1.3372	0.7614
SYD-NY Low	100.75	1.1141	112.68	0.9640	1.3281	0.7568
NY 5:00 PM	101.25	1.1149	112.89	0.9733	1.3324	0.7588
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.31/11.71		△25RR	1.600	Yen Call Over	

NY DOW	18,355.00	41.23	債券市場	日本2年債	-0.1720	▲0.2bp
NASDAQ	5,159.74	22.01		日本10年債	-0.0830	▲0.8bp
S&P	2,163.79	6.76		米国2年債	0.6668	▲1.2bp
日経平均	16,083.11	▲308.34		米国5年債	1.0702	▲1.9bp
TOPIX	1,271.98	▲28.22		米国10年債	1.5420	▲1.4bp
シカゴ日経先物	16,095	▲30.00	為替市況	独10年債	-0.0380	▲0.2bp
ロンドンFT	6,634.40	▲11.00		英10年債	0.8020	▲0.6bp
DAX	10,170.21	25.87		豪10年債	1.9290	11.0bp
ハンセン指数	21,739.12	▲390.02		USD/CNH	6.6436	0.0109
上海総合	2,978.46	7.18		ドルインデックス	95.55	0.48
USDJPY 3M Vol	12.47	▲0.29%	商品市況	CRB指数	179.789	2.47
USDJPY 6M Vol	12.02	▲0.18%		NY金	1,364.700	▲7.90
EURJPY 3M Vol	12.32	▲0.30%		WTI	40.830	1.32
EURJPY 6M Vol	12.12	▲0.17%		Dubai Spot	38.82	▲0.52

東京	東京時間のドル円は101.08レベルでオープン。前日海外時間に米株が7営業日続落するなどリスクセンチメントが後退した流れを引き継いで日経平均株価が安寄りしたものの、ドル円は101円台前半で推移。浅川財務官が足元の為替市場に関して「神経質な動きだ。動向を注視する。」と語ったことや、本邦長期金利が低下したこと、本邦実需勢のドル買い期待などが相場をサポートする材料となり、高値101.35をつける。後場に入ると特段の材料はなかったものの、経済対策に関する材料出尽くし感からか日経平均株価が前日比300円超下落。この動きにドル円は101.00を割り込み、100.75まで連れ安となった。しかし、100円台後半では押し目買いも見られ、ドル円は101.07レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ドル円は横ばい推移。101.07レベルでオープン後、東京時間の浅川財務官からのコメントがロンドン時間も引き続き意識されたこと等もあり、101円台前半で底堅く推移。101.07レベルでNYに渡った。ポンドドルは買い優勢の展開となった。1.3316レベルでオープン後、翌日に英中央銀行の金融政策決定会合を控えていることに対する警戒感もあり、ポンドショートポジションにアンワイトが入ったことや、ユーロポンドが0.8400のストップをつけたことを受けて上昇。1.3357レベルでNYに渡った。(ロンドントルフリー 00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円相場は101.07レベルでオープン。朝方に発表された米7月ADP雇用者数の伸びは、市場予想を上回ったほか、前月分も上方修正され、為替市場はドル買いの反応が見られたが、値幅は限定的だった。その後発表された米7月ISM非製造業景況指数は予想を下回る内容となり、雇用指数の部分も前回から低下していたが、原油が反発し40ドル台を回復したことや米債利回りも上昇したこと、ドル買いの動きがドル円をサポートし一時101.57まで上昇した。尚、米週間石油在庫統計で原油在庫が予想に反して増加するも、原油生産が減少に転じたことやガソリン在庫が予想以上に減少したことなどを背景に、原油価格は一段安後は大きく切り返したことから、ドル円の反応も一時的に留まった。その後もドル高の流れが継続したが、101円台半ば付近では相応の売り意欲が見られ上値を抑えられた。終盤、ドル円はやや戻り売りが優勢な展開に101.10まで下げ101.25レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1203レベルでNYオープン。米経済指標や米石油在庫統計など一連のイベントを通過したが、全体的にドル買いの流れが維持されるなかで、ユーロドルは一本調子の下げとなり、一時1.1141まで下落した。ユーロドルは先週からの急上昇で過熱感も出ており、ドルの買い戻しが優勢となったことから上げ一服となり、1.1149レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:佐藤(雅)・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月3日	8:50	日銀金融政策決定会合議事要旨公表	-	-
	10:45	財新・中国サービス業PMI/コンポジットPMI	7月 51.7/51.9	-/-
	16:55	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 54.4/55.3	54.6/55.3
	17:00	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 52.9/53.2	52.7/52.9
	17:30	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 47.4/47.5	47.4/47.7
	18:00	小売売上高(前月比/前年比)	6月 0.0%/1.6%	0.0%/1.8%
	20:00	MBA住宅ローン申請件数	-	-3.5%
	21:15	ADP雇用統計	7月 179K	170K
	22:45	マークイット・サービス業PMI/コンポジットPMI(確報)	7月 51.4/51.8	51.0/-
	23:00	ISM非製造業景況指数	7月 55.5	55.9

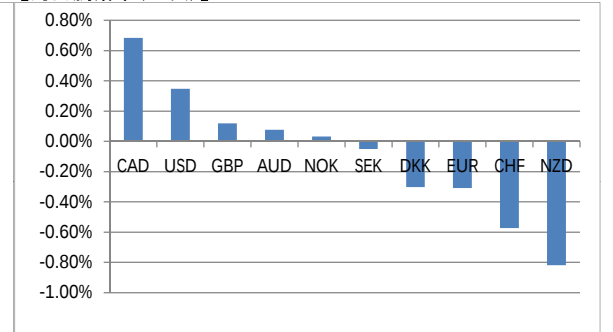
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月4日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	小売売上高(前月比)	6月 0.3%	0.2%
	19:15	カブラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	20:00	BOE政策金利/資産購入目標	0.25%/£375B	0.50%/£375B
	21:30	新規失業保険申請件数	-	265K
	23:00	製造業受注指数	6月 -1.9%	-1.0%
	23:00	耐久財受注(確報・前月比)	6月 -4.0%	-4.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.90—101.70	1.1100—1.1200	112.40—113.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は、レンジ内で動意に乏しい展開。米7月ADP雇用統計が市場予想を上回る一方、米7月ISM非製造業景況指数が予想を下回り、まちまちの結果となると、方向感なく推移し、101.25レベルでクローズ。本日のドル/円相場は、引き続き動意に乏しい展開を予想する。明日の米7月雇用統計を控え、手がかり材料に乏しく、小幅レンジでの推移となりそうだ。